

---

---

資 料

---

---

第 12 回  
南山大学法学部・法科大学院—韓南大学校法科大学  
学術交流会

南山大学法学部長 澤 登 文 治

韓南大学校法科大学との学術交流会は、2014 年度で第 12 回目を迎え、2014 年 11 月 2 日(日)から 11 月 4 日(火)にかけて南山大学において行われた。韓南大学校からの訪問団は、金元奎(キム ウォンギユ)教授、金容孝(キム ヨンヒョ)教授、孫元璇(ソン ウォンソン)教授および助手 3 名ならびに学生 14 名の合計 20 名であった。

到着翌日 11 月 3 日(月)午後 2 時から南山大学 A 棟 A32 教室において開催された学術セミナーでは、「日韓のコーポレートガバナンスにおける諸課題」という共通テーマを予め設定した。第 1 報告者である南山大学法学部・佐藤 勤教授から「機関投資家のモニタリングを通じたコーポレートガバナンス——日本版スチュワードシップ・コード——」、第 2 報告者である金元奎教授から「韓国の金融会社の支配構造改善案としての内部統制基準と遵法監視人制度」というタイトルで各々報告がなされ、その後、盛んな議論が行われた。

またそれに先立って 11 月 3 日(月)の午前中には、恒例の学長表敬訪問が、金元奎学長をはじめとする韓南大学校教授団により行われた。折しも南山大学名古屋キャンパスは、大学祭の真っ只中で学長室もお休みであったため、わざわざ学長に A 棟まで足を運んで頂いての学長表敬訪問であった。そのあと、G 棟から R 棟に移転し 2013 年秋にリニューアルオープンした「人類学博物館」を訪れた。人文科学部の黒沢浩教授に、展示品を手に取りながら見ることができるといって大変珍しい形態の博物館であることなど、展示品に関する解説も含めて丁寧なご案内を特別にして頂いた。訪問団の先生方も大変興味深そうに展示品に触れていた。館長および黒沢教授には、この場を借りてお礼申し上げたい。

〔資料〕第12回 南山大学法学部・法科大学院 — 韓南大学校法科大学 学術交流会

記録のため、今回の学術交流会の日程および学術セミナー終了後に撮影した集合写真を以下に掲載する。

なお、第1報告である佐藤教授の報告については、今後、論説として本誌掲載が予定されている。また、第2報告の金教授の報告については、ご本人の了承の下、本誌にそのレジュメを掲載しているので、ご参照願いたい。



〈日 程 表〉

日 付	時 間	場 所・行 事 等
11月2日 (日)	16:45 19:30～21:00	セントレア着 南山学園研修センター・歓迎夕食会
11月3日 (月)	11:00～11:30 11:30～12:00 12:00～13:30 14:00～17:00 18:00～20:00	A棟・学長表敬訪問 (ミカエル・カルマノ学長) 人類学博物館見学 教職員食堂・昼食 A棟 A32 教室・学術セミナー 進 行：玉井利幸教授 報告者：金元奎教授, 佐藤 勤教授 職員食堂・懇親会
11月4日 (火)	8:00	南山学園研修センターからバスで大坂方面へ出発